

埼玉県立大学 2021年度 地域包括ケアセミナー 「地域の社会資源を知ろう(第11回)」

～ 連合埼玉における地域社会への取り組み～



2021年9月24日

連 合 埼 玉
事務局長 平尾幹雄

<目次>

- 連合（日本労働組合総連合）とは
- 連合埼玉における地域社会への取り組み
 - ① ネットワークSAITAMA21運動
 - ② 政策制度要請の取り組み（埼玉県、63市町村）
 - ③ 労働相談・生活相談・法律相談対応
 - ④ 災害支援（災害ボランティア）対応
 - ⑤ 労働組合における就業支援活動



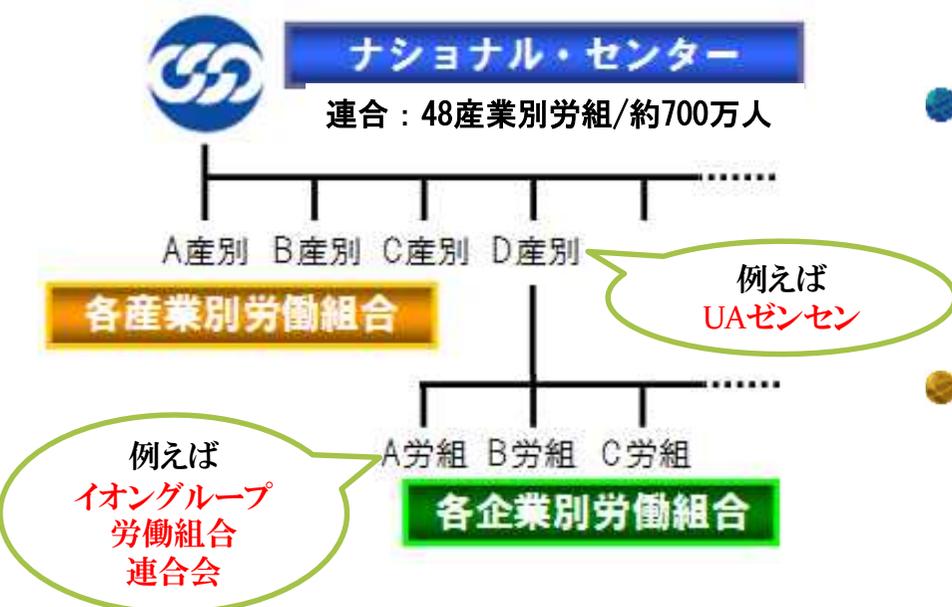
連合(日本労働組合総連合)とは

連合埼玉 約17万人

連合の組織体制について

全国で約700万人の組合員

● 3層構造の日本の労働組合



働く仲間と築く
“希望”と“安心”の社会

● ナショナルセンター

全国中央組織として労働運動の一体的な推進をはかる機能・役割を果たし、**個別の産業や地域では解決が難しい課題**に取り組んでいます。

● 産業別組織(構成組織)

同じ産業に属する企業別組合が加盟し、**産業全体に共通する労働条件や、産業政策**などの課題に取り組んでいます。

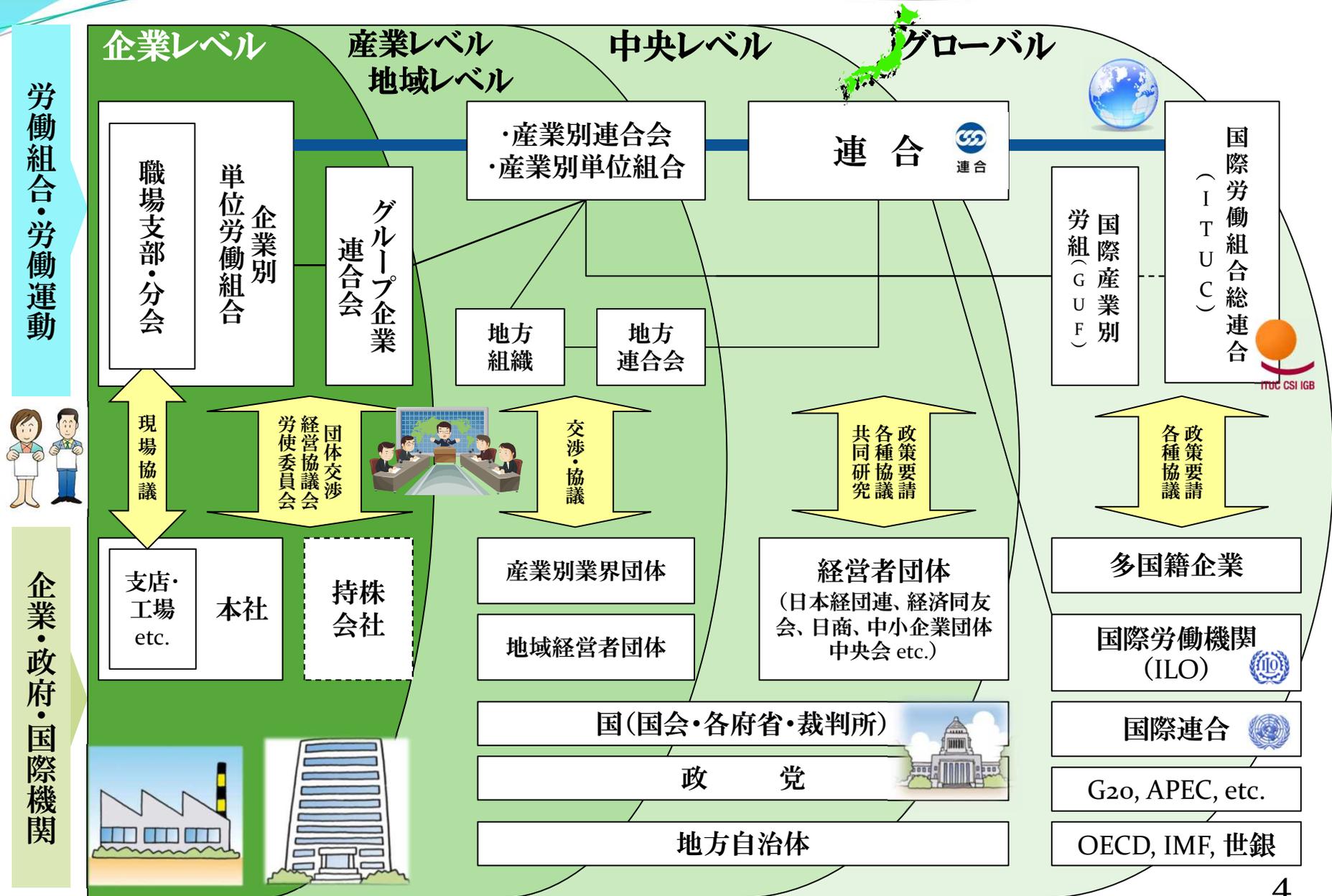
● 企業別組合(単位組合)

職場の内の労使交渉・協議を通じて、**労働条件の改善、企業の行動チェック、組合員へのサービス活動**を行っています。

連合では、**48の産業別組織、47の地方連合会**が活動しています。



重層的な労使関係の姿(イメージ)



5つの「安心の橋」を架ける政策パッケージで 2020年、「働くことを軸とする安心社会」の実現へ

「働くこと」につなげる
5つの「安心の橋」

教育と雇用をつなぐ橋

「貧困の連鎖」を断ち切り、
学ぶ場から働く場へ
円滑に移行できる制度を確立する。

失業と雇用をつなぐ橋

職業紹介、職業訓練、所得保障の
一体的支援で、
スムーズな復職をサポートする。

働くかたちを自由にする橋

ライフステージに応じた、柔軟で
ディーセントな働き方を整備する。

家族と雇用をつなぐ橋

子育てや介護を社会全体で支え、
男女平等参画社会を構築する。

退職と雇用をつなぐ橋

高齢者の知識や経験を社会に生かし、
老後の安心を保障する制度を構築する。

「働くことを軸とする 安心社会」を支える基盤

地方分権を進め、公平な負担にもとづく
持続可能な社会の基盤をつくる。

連合埼玉における地域社会への取り組み

1. ネットワークSAITAMA21運動

「出会い・つながり・支えあい」を

キーワードに次のことをめざす活動です



連合埼玉と埼玉労福協が推進母体として、地域の多様なNPOや市民(団体)とも連帯・協働する、勤労者と市民とのネットワーク型の『新しいカタチ』の労働運動

●共生の地域社会づくりへの積極的参画

●勤労者の生涯サポート活動

●市民社会との連帯と協働



共生の地域社会づくりへの積極的参画

少子高齢社会は、ますます地域の大切さが求められます。子育てや介護など地域で解決しなければならない課題が沢山あります。

「ネット21運動」は、地域での支えあい・助け合いの「共生の地域社会づくり」に積極的に参加します。



勤労者の生涯サポート活動

長寿国の日本。「ネット21運動」は勤労者の定年退職後も、地域での生活・暮らし、市民活動などサポートする運動です。

<60歳以降を見据えた準備>

約3割の人が「何もしていない」
「何もしていない」37.2%⇒29.7%
「健康・体力づくり」37.1%⇒49.4%
「知識・技能の習得」25.8%⇒31.0%

H29県政サポーターアンケート
R2県政サポーターアンケート



市民社会との連帯と協働

労働組合や労福協(労働者福祉協議会)、そして労働金庫・こくみん共済coop<全労済>・生協も働く仲間の助け合い・支えあいが原点の組織です。

組合員・会員はもとより、広く勤労県民の暮らしの安定・向上のために市民社会と連帯・協働するネットワーク型の福祉運動を進め、共生の地域社会づくりに向けて、その役割を発揮します。



ネットワークSAITAMA21運動の具体的取り組み

勤労者の暮らしと市民活動を応援する
3つのプログラム＋特別事業

①ライフサポートプログラム

②ボランティアサポートプログラム

③NPOサポートプログラム

★東日本大震災被災者・避難者支援活動

①ライフサポートプログラム

◇勤労者の生活と暮らしに役立つ

「※暮らし応援セミナー（出前講座）」の開催

◇生活困窮者支援

- ・生活困窮者等への支援に取り組む団体等と連携し、必要な支援をおこなう
(フードバンク・子ども食堂等)



※暮らし応援セミナー(出前講座)

2019年度 27セミナー 987人聴講

○セミナーのテーマ

- ・相続 ・年金 ・資産運用 ・生命保険 ・カードローン
- ・ふるさと納税 ・更年期障害 ・介護 ・認知症
- ・育児 ・貧困 ・メンタルヘルス ・話し方
- ・コミュニケーションスキル
- ・食事による健康増進
- ・リラクゼーションストレッチ
- ・セルフリンパドレナージュ



2020年度

4セミナー 123人聴講

※コロナ禍で出前講座依頼減少

②ボランティアサポートプログラム

◇ボランティア活動をやりたい人への
活動紹介・情報提供事業

○シニア人財バンク制度

◇自然環境ボランティア促進事業

2020年度
自然環境ボランティア
※コロナ禍で実施見送り

○夏休み親子・ファミリー自然体験in尾瀬

○夏休み親子自然体験教室「山の学校inときがわ」



③NPOサポートプログラム

◇NPO支援事業

○NPO応援・物品助成プログラム(推薦・応募方式)

2007年度～現在までにパソコン**147台**寄贈

2016年度よりパソコン寄贈団体への訪問・意見交換を実施

○NPO応援・少額(物品等)助成プログラム(推薦方式)

年間予算20万円 1団体4万円以内

2011年度～現在までに

28団体に973,155円助成



③NPOサポートプログラム

◇NPO活動への理解と参加をサポートする事業

○おじさん変身講座 50歳以上(2004～2006)



○NPOインターンシップ(2006～2014)

○NPO訪問ツアー(2009～2014)



○飛び出せシニアセミナー 50歳以上(2015～2017)



○地域でつながるNPOと労働組合(2018～)



★東日本大震災 被災者・避難者支援活動

◇夏休み親子自然体験教室「山の学校inときがわ」

◇子育て支援「ママランチ会」

◇バーベキューファミリー交流会inサイボクハム



2020年度活動
※コロナ禍で実施見送り

ネットワークSAITAMA21運動を支えている財源

ふれあいコミュニティーファンド

- ネット21ボランティアカード(500円/枚)

※福利厚生サービス付のカード

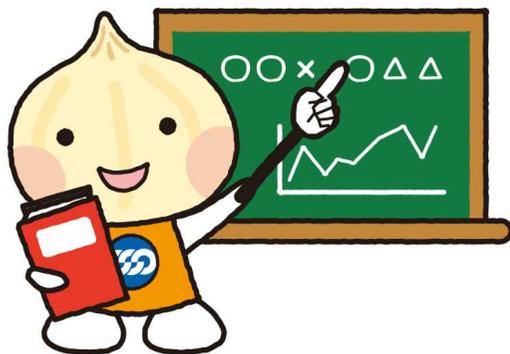
- 団体と個人からの寄付

連合埼玉における地域社会への取り組み

2. 政策制度要請の取り組み(埼玉県、63市町村)

<基本的考え方>

連合埼玉は、埼玉県で働く者・生活者の視点に立った政策・制度要請を通じて、地域の活性化に取り組む。



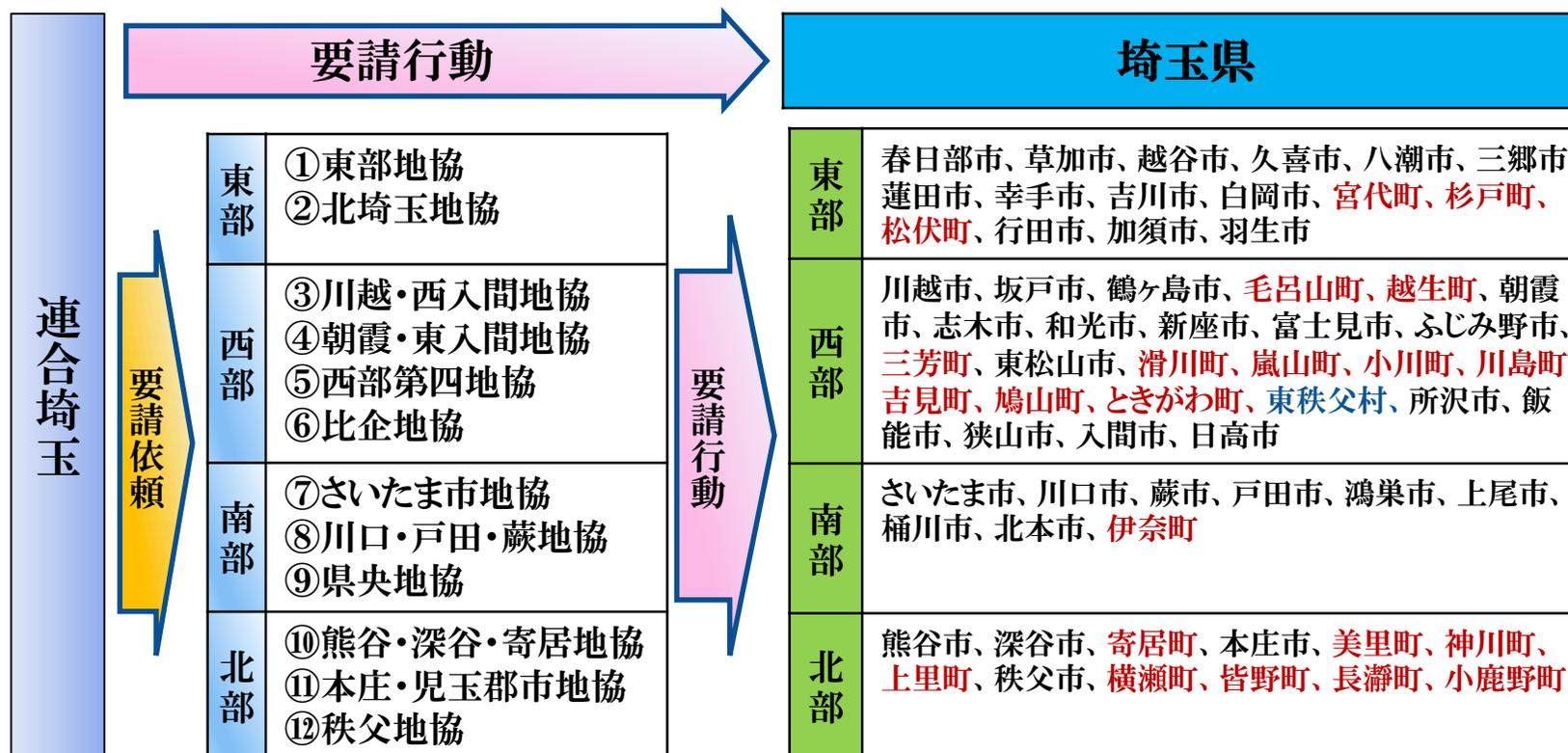
主に、以下の分野について、政策・制度要請をおこなっています。

- ①総合経済・産業政策
- ②雇用労働政策
- ③福祉・社会保障政策
- ④消費者政策
- ⑤交通政策
- ⑥教育・子育て政策
- ⑦人権・男女平等政策

いずれも、個別労使あるいは各構成組織の労使だけでは解決できないことについて、目指すべき地域社会に向けて、その実現に向けた政策・制度要請の活動をおこなっています。

連合埼玉の政策・制度の要請の取り組み状況

政策・制度要請については、埼玉県、**県内全ての63市町村(40市、22町、1村)**に**要請行動**をおこなっています。要請内容については、県・市町村共有に要請できる項目、県のみの要請項目、市町村のみ要請する項目と分けて、要請をおこなっています。



<黒字・・40市 赤字・・22町 青字・・1村>

連合埼玉における地域社会への取り組み

3. 労働相談・生活相談・法律相談対応

なんでも労働相談ダイヤル(0120-154-052 いこうよ、れんごうに)を通じて、年間約700件の労働相談・生活相談を中心に対応をおこなっています。
また、労福協と連携して、定期的な法律相談も実施しています。

4. 災害支援(災害ボランティア)対応

災害ボランティア救援隊(約240名登録)を組織し、日頃から災害支援の訓練を実施しながら、自然災害などの災害時に災害ボランティアを実施しています。
(実績:2014年2月の雪害(秩父市)、2019年台風19号の水害支援(川越市、坂戸市)など)

5. 労働組合における就業支援活動

埼玉労働局との共催で、2011年から「既卒者3年以内を対象とした就職面接会」を開催し、2020年度からは、「34歳以下の若者も対象も加えて」面接会を通じて、地域の企業への既卒者の就職支援を実施しています。
(今年度は、2021年6月9日実施)